

今号は、今夏に開催いたしました不登校支援研修会の概要を紹介いたします。

本研修会はオンライン開催で、講師は、広島県教育委員会事務局 学びの革新推進部 個別最適な学び担当 不登校支援センター 指導主事 大前 美果 先生でした。「不登校等児童生徒への支援について」という演題で、校内教育支援センター（SSR）での支援の取組や、組織的な学校体制の構築についての取組をグループワークを取り入れながらわかりやすく教えていただきました。不登校児童生徒に限らず、すべての児童生徒への関わりについて参考になる研修会でした。

1. 不登校児童生徒への支援の目標は、将来、児童生徒が精神的にも経済的にも自立し、豊かな人生を送れるような、社会的自立を果たすこと

参考：「生徒指導提要」（令和4年12月 文部科学省）

社会的自立とは →

適切に他者に依存したり、自らが必要な支援を求めたりしながら、社会の中で自己実現していくこと。

2. 校内教育支援センターの環境整備について

◎ 安心・安全な居場所



リビングルームのような部屋を目指しましょう！

校内で入室しやすい場所を選定し、動線を確保しましょう！

個別の学習、協働での学習の両立が可能なレイアウトを工夫しましょう！

◎ 個々の状況に応じて成長できる場所



子どもたち一人一人、安心の基準は違います！子どもたちが過ごしやすい状況や環境を、子どもたちと一緒に作っていきましょう。また、興味関心を生かした学びや相互に学び合う場の設定をしましょう！

スケジュール・過ごす場所は自分で決定するようにしましょう！

自分たちの頑張りが実感できるような取組をしましょう！

3. 組織的な学校体制の構築について

①不登校等児童生徒支援会議の開催

- ・時間割に組み込むなどにより、週1回程度の実施
- ・不登校等児童生徒の状況の共有や取組方針等について協議など

②情報を共有するシステムの構築

- ・校内サーバの共有フォルダ上に保存
(個人情報の適切な管理に留意)

③関係機関等との連携体制の整備

- ・職員回覧（支援会議の内容・児童生徒の最新の状況）
- ・各市町の福祉を担当する部署
- ・こども家庭センター
- ・徳島中央こども女性相談センター（児童相談所）
- ・教育支援センター（すだち学級） など

チーム支援の必要性

管理職のリーダーシップによるマネジメント

チームで統一した声かけや支援を行う！

4. SSRにおける成果等の学校全体への普及について

教育相談の形態と方法

代表的な相談形態

- 個別相談
- グループ相談
- チーム相談
- 呼び出し相談
- チャンス相談
- 定期相談
- 自発相談 など

代表的な相談方法

- 面接相談
- 電話相談
- 手紙相談
- FAX相談
- オンライン相談など

参考：桜井美加「教育相談ワークブッカー子どもを育む人になる生徒指導提要」（令和4年12月 文部科学省）

教職員と児童生徒の信頼関係を築く

- 教室の入口で児童生徒に挨拶をする
- 児童生徒の名前を呼ぶ
- アイコンタクトをとる
- 親しみを込めた身振りをする
- やる気ができるように言葉をかける
- 今日はどんな気分かを尋ねる

参考：マリリー・スプレンガー著 大内朋子他訳「感情と社会性を育む学び（SEL）－子どもの、今と将来が変わる」新評論

★ SSRを利用した生徒の声

私は、ずっと不登校でした。（～中略～）

私の転機となったのはSSRでした。最初話を聞いた時、あまり乗り気ではなかったというか、正直すぐに行けなくなると思っていました。だけど、行って見て、すごく楽しくて、何より息がしやすかった。夏休み、SSRに登校するのも楽しくて、もっとSSRに行きたいと思いました。（～中略～）

今、こうして作文を書いている私は、高校を決めることができました。苦しいながら前を向くことができました。もう生きたくないなんて思いません。生きたい。生きて自分なりに人生を歩きたい。

未来のことは分からないし、また挫折するかもしれない。それでも生きてみようと思います。

講演内容は以上の通りですが、講演の中にててくる校内教育支援センター（SSR）と教育支援センターについては、次の通りです。

◎校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）とは

学校には行けるけれど、自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせリラックスしたい時に利用できる、学校内の空き教室等を活用した部屋。児童生徒のペースに合わせて相談に乗ったり学習のサポートを行う。SSRともいう。

◎教育支援センターとは

各地域の教育委員会が開設していて、児童生徒一人一人に合わせた個別学習や相談などを行う場所。市の施設など、公の建物の中にあることが多く、利用料は基本的に無料。徳島市においては、「すだち学級」。



～すだち学級の見学などについて～

すだち学級では、児童生徒・保護者・教員からの不登校に関する相談を随時受け付けています。（教育相談員・スクールカウンセラーが常駐しています。）

また、すだち学級を保護者の方や児童生徒、先生方に見学していただくことができます。すだち学級の教育相談員やスクールカウンセラーを校内研修などに講師として派遣することもできます。

詳しくは、すだち学級（電話623-5150）まで御相談ください。



～学生メンタルサポーター（SMS）派遣について～

教育研究所では、徳島市内の公立小中学校に在籍するひきこもりがちな児童生徒の家庭に、臨床心理学を専攻する大学院生を学生メンタルサポーター（SMS）として派遣しています。1週間に1回約1時間程度、SMSと一緒に話をしたり遊んだりする中で、児童生徒の学校復帰や社会的自立への支援を行っています。

詳しくは、教育研究所（電話621-5432）までお問い合わせください。